

平成 28 年度決算認定に係る 施策評価等に関する提言(案)

※この提言案は 8 月 1 日に開催した各常任委員会での協議をまとめたものであり、
9 月に開催する各常任委員会での協議を経て、提言を行います。
したがって、この案が最終的な提言ではありません。

飯田市議会

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-2 義務教育の充実	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
<p>【施策全体の評価】 A 進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ごとの飯田らしいコミュニティスクールの構築。 ・ 支援が必要な児童生徒が増えていることへの対策。 ・ ICT教育を生徒、そして教師にとって有効な手段とすることができるか。 ・ 小学校における英語教育の円滑な導入。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小連携の具体的推進。 ・ コミュニティースクールは、地域の主に高齢者が対象になることが想定されるが、高校生や大学生との交流も必要。 ・ 不登校の対策として、経験豊富な教員の手厚い配置などが必要。 ・ ICT教育、コミュニティースクール共に、教職員の関わり方がカギを握っている。教職員の意識の持ち方も含めた、レベルの統一を図れるような対策が必要。 ・ 本格化するICT教育を飯田市でどう生かしていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地等それぞれの地域事情に適応した学校づくりに取り組まれない。 ・ ICT教育の推進におけるマイナス面・弊害部分に対する理解と対策に取り組まれない。 ・ 教職員への負担増大が予想されるなか、支援の拡充を進められたい。 ・ コミュニティースクールによる公民館等地域との連携に加え、高校生や大学生を加えた交流を検討されたい。 ・ LG飯田教育の研究を進め、具体的な事業として取り組まれない。 ・ 学校の部活動については、当事者の声を反映させるよう取り組まれない。 ・ 不登校対策の充実を図られたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-9ふるさと意識の醸成	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
<p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった 理由・ 成果指標の傾向が芳しくなく、目標値に届いていない。 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。 【施策の課題】 ・ 高校生アンケートによる、地域への愛着と住み続けたい意思との落差への対策（アンケートの取り方に一考の余地あり）。 ・ ふるさと学習等のための情報システムの整備。 ・ 体験を通したふるさとに愛着を持つ施策（コミュニティスクールと連携した取り組み）。</p> <p>【別の視点からの取り組み】 ・ 高校生に地域の祭や行事に積極的参加を促す。 ・ 「地域人教育」の水平展開。 ・ 高校生をもつ親のふるさと意識の醸成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生・高校生を中心に、地域の祭・行事に参加することを推進する取り組みを進められたい。 ・ 「地域を知るための副読本」を活用されたい。 ・ 飯田OIDE長姫高校で行われている「地域人教育」の水平展開を進められたい。 ・ 市民の学習意欲向上が地域の活性化につながるよう、学びたい時に身近に触れられる学べる環境整備に取り組まれたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-7 文化芸術の振興	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
<p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった</p> <p>理由・ 成果指標の文化芸術活動を行っている人の割合が減少している。</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化芸術の振興」とは、どういう状態・レベルを目指そうとしているのか、具体像が見えない。 ・ 文化芸術の演じ手等の減少への対策。 ・ 文化芸術による都市間交流（リニア駅設置都市・三遠南信地域）。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのホール施設が、今後どうなるか将来像を描く必要がある。 ・ 和太鼓・ダンスフェスなど、新たなジャンルへの取り組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化会館をはじめとする3ホール施設のあり方について、リニア時代に活かす、文化芸術の拠点となる施設の将来像を提示していくべきではないか。 ・ 「小さな世界都市」を標榜する中、その具体像は見えてこない。「小さな世界都市」の具体像を市民が知る機会として、平成30年度に開催されるAVIAMA総会、世界人形劇フェスティバルの開催を捉えて、外国向けの情報発信、外国人観光客の受け入れ態勢づくり、受け入れる市民意識の向上など、リニア時代を見据えた取り組みを進めてはどうか。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
6-3 地域資産の保存・継承	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存・継承の担い手の減少傾向への対策。 ・ 地域資産の活用は、個人団体だけでは難しい。バックアップし、コーディネートする体制づくりが必要。 ・ 情報発信力の弱さ。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存・継承に取り組むための拠点となるべき施設・エリアの整備を進める必要がある。 ・ 維持管理とともにその資産をどう活用していくかが課題となり、美博の学芸員、歴史研究所の研究者など専門知識を持った人材の育成が求められる。 ・ メディアや若い有名人を有効活用しての情報発信が必要。 ・ 古文書については、膨大な量となることが予想されるので、古民家とともに、保存の方向性を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流人口を増やし、外貨獲得につなげるためにも、飯田の歴史・文化の保存・伝承に留まらず、効果的な情報発信に取り組みたい。 ・ 情報発信という意味からも、活動の拠点となる施設、エリアの整備が求められており、「地域振興の知の拠点」の整備に取り組みたい。 ・ 地域資産が活用されることを前提とした視点が必要であり、活用するためには、地域資産をどう保存し、伝承していくことが有効であるか、地域資産の対象別に、保存・伝承方法について研究検討を進められたい。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
3-7子どもを産み育てやすい環境の充実	基本目標⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療現場における医師会等各団体との連携。 ・ 児童クラブ等の実態把握による市民ニーズと市の計画との整合性確保。 ・ ワークライフバランスについて、事業所などの地域における子育てへの理解・協力。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代のニーズを把握し、意見を反映させるための実態調査を行う。 ・ 妊娠・出産・育児・就学と切れ目のない支援体制の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相生市の「子育て応援都市宣言」、流山市の「母になるなら流山」といったキャッチフレーズと共に、具体的な数値も含めて当市が子育てに最適な地域であることを発信すべきではないか。 ・ 国が平成32年度末を目途とし、飯田市も進めようとしている「子育て世代包括支援センター」設置の早期実現を図る。 ・ 具体的施策 <ol style="list-style-type: none"> ① 第3子以降の保育料無料化に取り組んではどうか。 ② 子どもの健康を守るため、中学生などの食生活をチェックするとともに、血液（糖尿）検査を導入してはどうか。
3-1心と体の健康づくり	基本目標⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」ををめざす
<p>【施策全体の評価】 C あまり進まなかった</p> <p>理由・ 国民健康保険の特定健康診査の受診率について、引用した国の目標に対し、その半分程度の30%台で推移していることから、「◎」とした評価は理解できず、進んだとは言えない。</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民健康保険の特定健康診査の受診率が、目標値に対して低い状況が続いており、上昇の兆しが窺えない。 ・ 心の健康の対策が不十分（具体的なものが見えてこない）。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データヘルス計画の活用。 ・ 心の健康に対する具体的事業への取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査の結果などのデータベースを活用し、市民への「見える化」を進めることにより、市民の健康づくりに対する意識を高めるよう取り組むべきではないか。 ・ 特定健診の受診率向上につなげるため、健康づくりを自治組織等の地域活動として取り組んではどうか。 ・ 男性が高齢化すると外出機会が減る傾向がある中で、諸活動への参加を促し、外出機会を増やすよう取り組んではどうか。

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
3-3共に支えあう地域福祉の推進	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報との兼ね合いもあり、住民支え合いマップが、実際に機能するのか検証することが必要。 ・ 地域福祉における人材確保。 ・ 地域福祉計画の実行。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化（市として全体の実態把握効果と市民に分かりやすいワンストップサービス）。 ・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉コーディネーター等人材の育成に取り組まれない。 ・ マイナンバー制度の地域福祉への利活用について検討をされたい。 ・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携に取り組まれない。
3-6 生活困難者の自立及び支援	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困難者の実態把握、分析。 ・ 就労支援・学習支援事業の導入。 ・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)。 <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)。 ・ 各種依存症（ギャンブル・アルコール等）への予防策の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)を進められたい。 ・ 民生児童委員への支援策を検討されたい。 ・ 子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、教育現場とのさらなる連携に取り組まれない。